

2023年4月4日 全8頁

消費データブック（2023/4/4号）

個社データ・業界統計・JCB消費NOWから足元の消費動向を先取り

経済調査部 エコノミスト 中村 華奈子

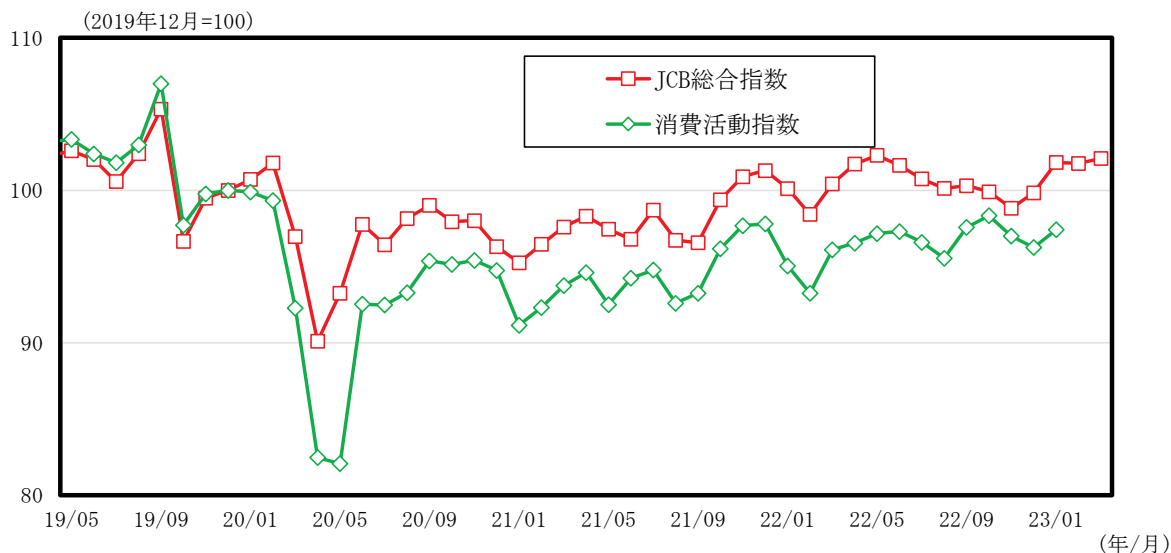
[要約]

- 2023年2月の消費は前月から概ね横ばいだった。財消費のうち、百貨店大手3社の売上高伸び率やアパレル大手3社の既存店売上高伸び率は前月から上昇した。新車販売台数は前月からほぼ横ばいだった（大和総研による季節調整値）。サービス消費のうち、新幹線輸送量は2019年同期比で前月からほぼ横ばい、国内線の旅客輸送量は前月からマイナス幅が縮小した。外食需要は前月から回復した。
- 2023年3月の消費は前月から横ばい圏で推移したとみている。財消費のうち、百貨店大手3社やアパレル大手3社の既存店売上高はまちまちな結果だった。新車販売台数は前月から減少した（大和総研による季節調整値）。サービス関連のうち、新幹線輸送量は2019年同期比で前月からマイナス幅が縮小した。宿泊需要は前月から回復した一方、外食需要は回復が鈍化した。移動人口の動向を見ると、月下旬にかけて小幅に落ち込んだものの、均して見れば感染拡大前の2019年同月の95%程度の水準まで回復した。

<消費全体の動き>

- ◆【JCB 総合指数】 23年3月前半のJCB総合指数¹（大和総研による季節調整値）をもとに3月の実質消費額の伸び率を試算すると、前月比+0.3%となった。財は前月から上昇した一方、サービスは前月から低下した。

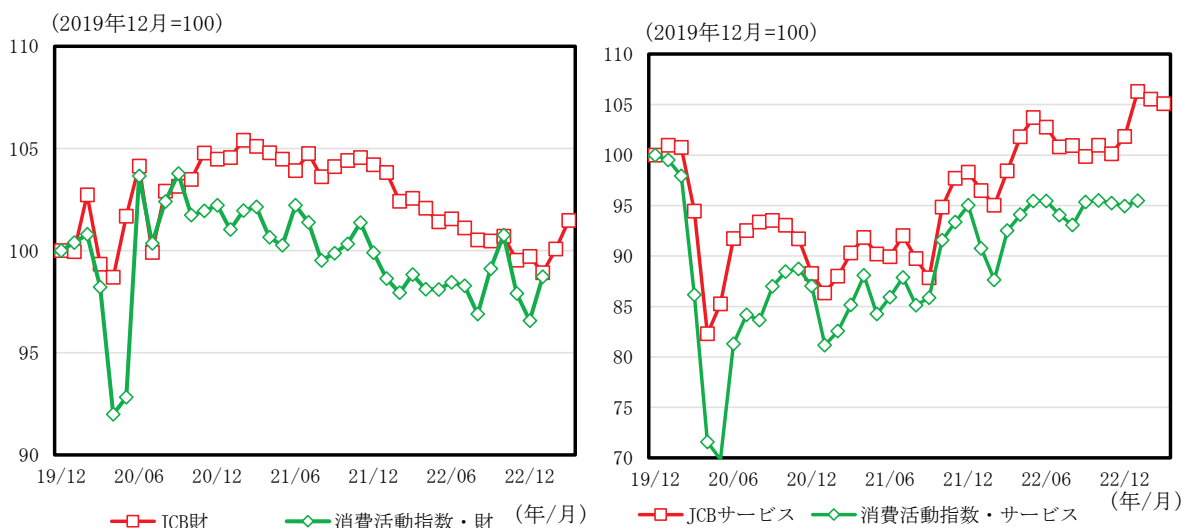
図表1：消費活動指数・JCB総合指数



(注) JCB 総合指数は大和総研による季節調整値。CPI で実質化。23年3月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算。

(出所) 日本銀行、総務省、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

図表2：財・サービス別に見た消費の動き



(注1) JCB 財指数・JCB サービス指数は大和総研による季節調整値。CPI で実質化。23年3月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算。

(注2) 財の消費活動指数は、当該指数の耐久財・非耐久財を形態別ウエイトで加重平均したもの。

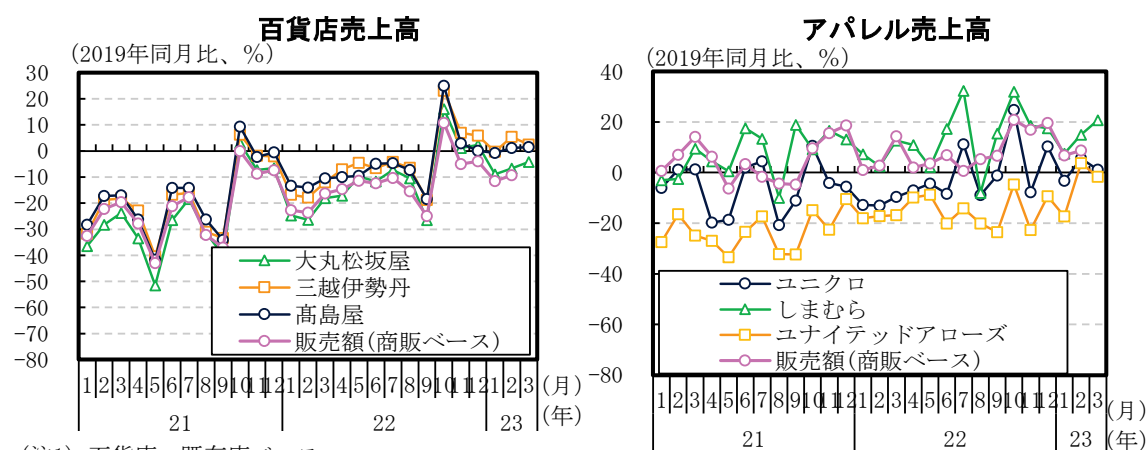
(出所) 日本銀行、総務省、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

¹ JCBグループ会員の中からランダムに抽出された約1,000万会員を対象に、ナウキャスト社が作成・公表している消費指数。

<小売関連>

- ◆【百貨店】 大手3社の23年2月の既存店売上高は新型コロナウイルス感染拡大前である2019年同月比で前月から伸び率が上昇。3月は3社まちな結果。三越伊勢丹と高島屋では前月から伸び率が低下。
- ◆【アパレル】 23年2月のアパレル各社の既存店売上高は、2019年同期比で伸び率が前月から上昇、3社ともプラス圏。3月はまちな結果。ユニクロとユニテッドアローズの既存店売上高は前月から伸び率が低下。

図表3：百貨店・アパレルの売上高



(注1) 百貨店：既存店ベース。

(注2) アパレル：既存店ベース。ユニクロとユニテッドアローズはネット通販を含む数値。

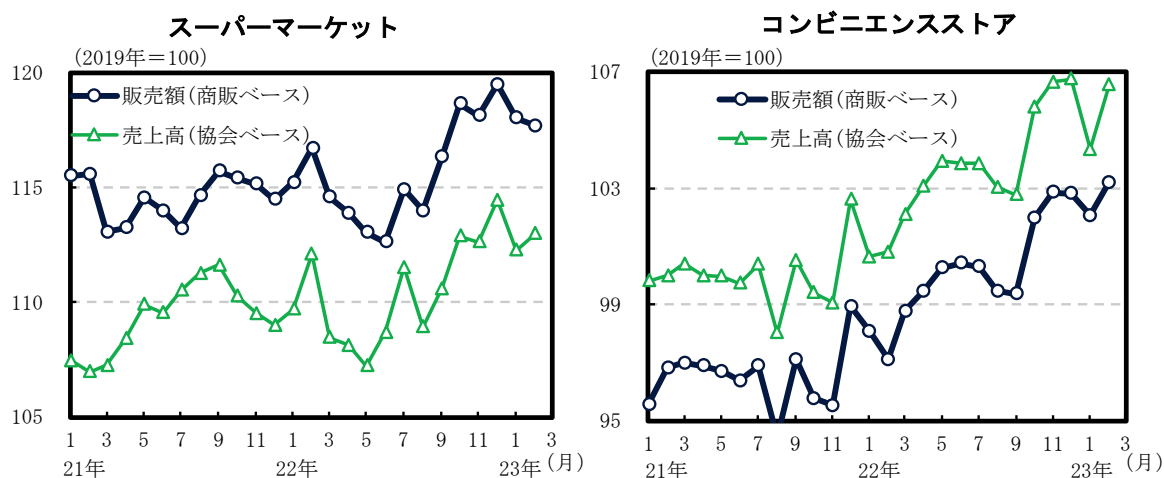
しまむらの各月の数値は前月21日から当月20日の集計値、20年10月以降はオンラインストア含む。

(注3) アパレル販売額(商販ベース)は、商業動態統計の「衣服・身の回り品卸売業」を参照。

(出所) 経済産業省統計、各社資料より大和総研作成

- ◆【スーパーマーケット】 23年2月の販売額は前月比▲0.3%（大和総研による季節調整値）。飲食料品販売額が低調。
- ◆【コンビニエンスストア】 23年2月の販売額は前月比+1.1%（大和総研による季節調整値）。加工食品などが増加。

図表4：スーパーマーケット・コンビニエンスストアの売上高

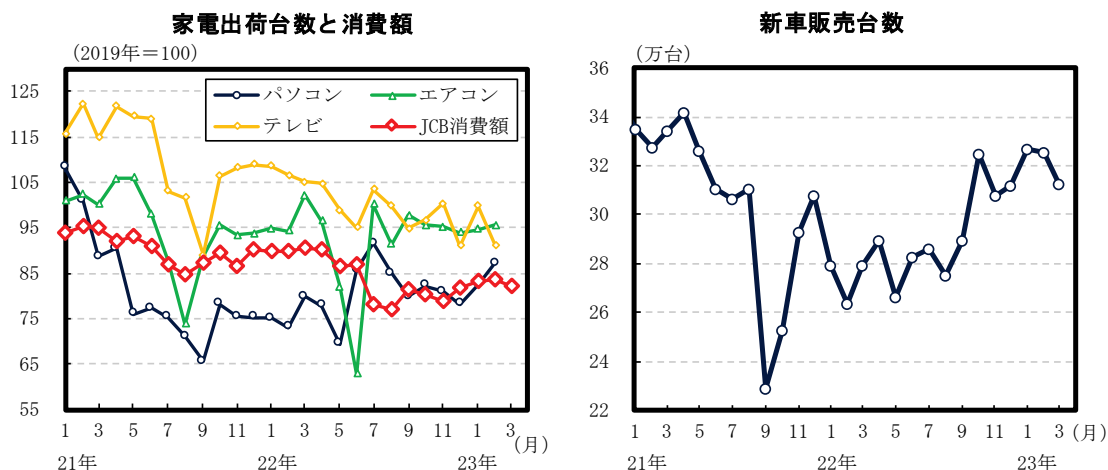


(注) 売上高(協会ベース)は既存店ベースの数値。大和総研による季節調整値。

(出所) 経済産業省、全国スーパーマーケット協会、日本フランチャイズチェーン協会より大和総研作成

- ◆【家電】 23年2月の出荷台数はパソコンが前月比+5.5%、エアコンが同+1.1%、テレビが同▲8.7%（大和総研による季節調整値）。3月のJCB消費額は同▲1.6%。
- ◆【自動車】 23年2月の新車販売台数は前月比▲0.2%（大和総研による季節調整値）。3月は同▲4%。1月の大幅増の反動減が一部で生じたとみられる。

図表5：家電出荷台数と新車販売台数



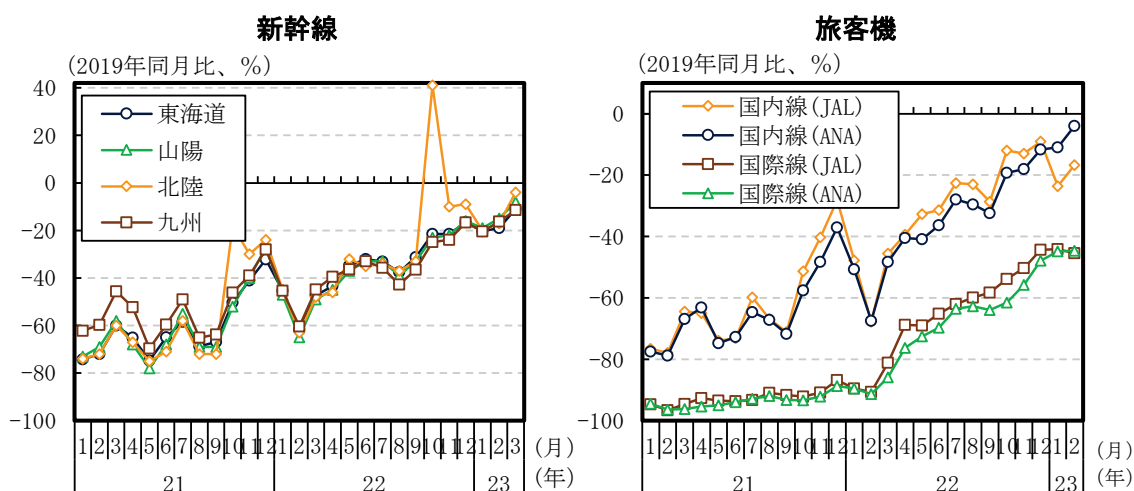
(注) 大和総研による季節調整値。JCB消費額はJCB「機械器具小売業」。23年3月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算。

(出所) 電子情報技術産業協会、日本冷凍空調工業会、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

<サービス関連>

- ◆【新幹線】 23年2月の輸送量は2019年同月比で前月からほぼ横ばい。3月は前月からマイナス幅が縮小し、同0~2割減に。
- ◆【旅客機】 23年2月の国内線輸送量は感染拡大前である2019年同月比で前月からマイナス幅が縮小し0~2割減、国際線輸送量は同4割減程度。航空各社は渡航需要の回復を受けて、今後の国際線の旅客便の供給量の拡大を発表している。

図表6：新幹線・旅客機の利用状況

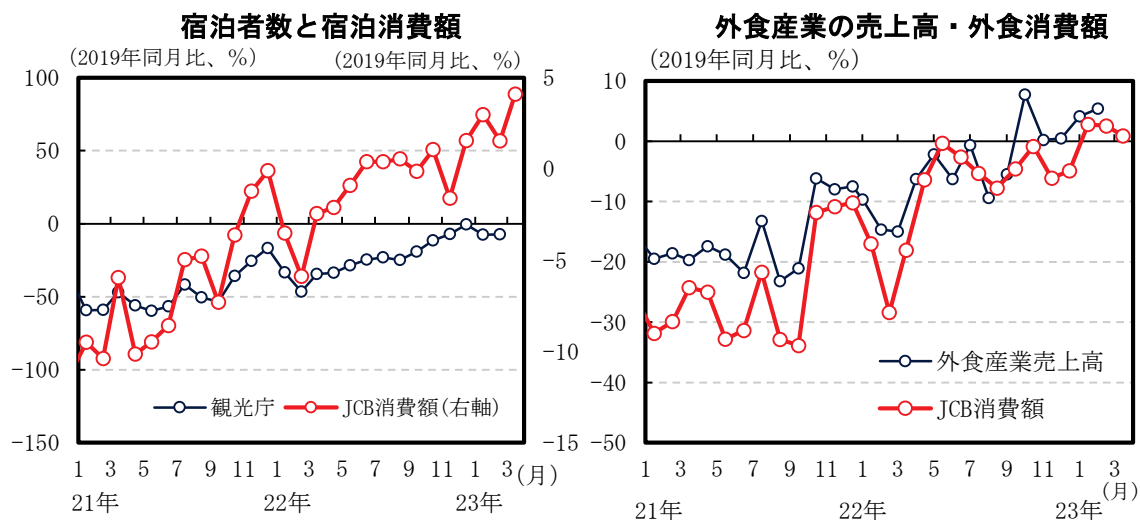


(注) 23年3月の東海は23日、山陽、北陸は21日、九州は27日まで。JAL・ANAのデータはグループ会社を含む。

(出所) JR東海、JR西日本、JR九州、JAL、ANA資料より大和総研作成

- ◆【宿泊】 23年2月の宿泊者数（観光庁、宿泊日数ベース）は感染拡大前である2019年同月比▲7%と前月からほぼ横ばい。3月のJCB宿泊消費額は同+4.1%。
- ◆【外食】 23年2月の外食産業の売上高は感染拡大前である2019年同月比+5.4%。3月のJCB外食消費額は前月から伸び率が縮小し、同+1%。

図表7：国内宿泊者数／外食産業の売上高

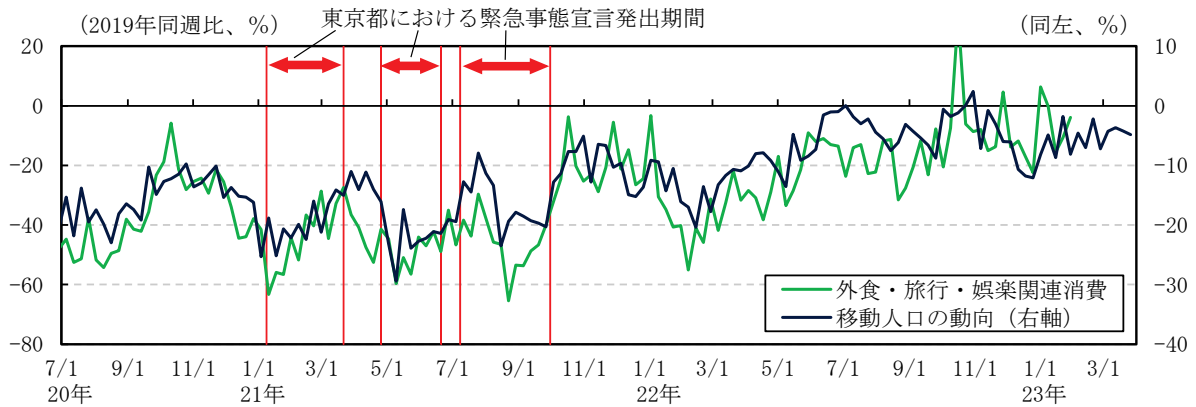


(注) 23年3月分のJCB消費額は月前半のデータをもとに伸び率を試算。観光庁統計は宿泊日数ベースのデータを用いている。

(出所) 観光庁、一般社団法人日本フードサービス協会統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

<参考：人出・高速道路交通量>

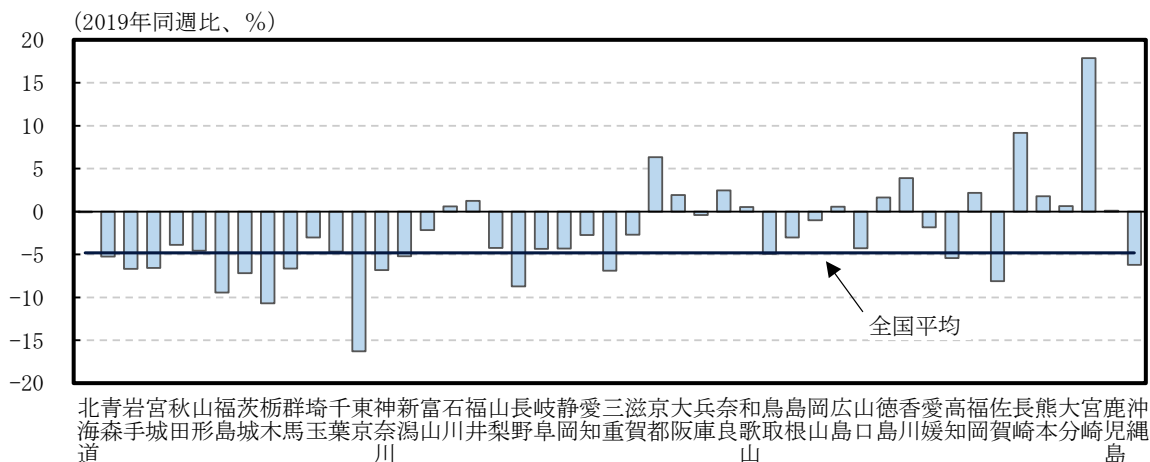
図表 8-1：移動人口の動向（直近値 3/26）と外食・旅行・娯楽関連消費



(注) 移動人口は全ての市区町村の「推定居住地が市区町村外のものの人口」を週ごとに集計したもの。
外食・旅行・娯楽関連消費は「外食」「交通」「教養娯楽サービス」の合計値。

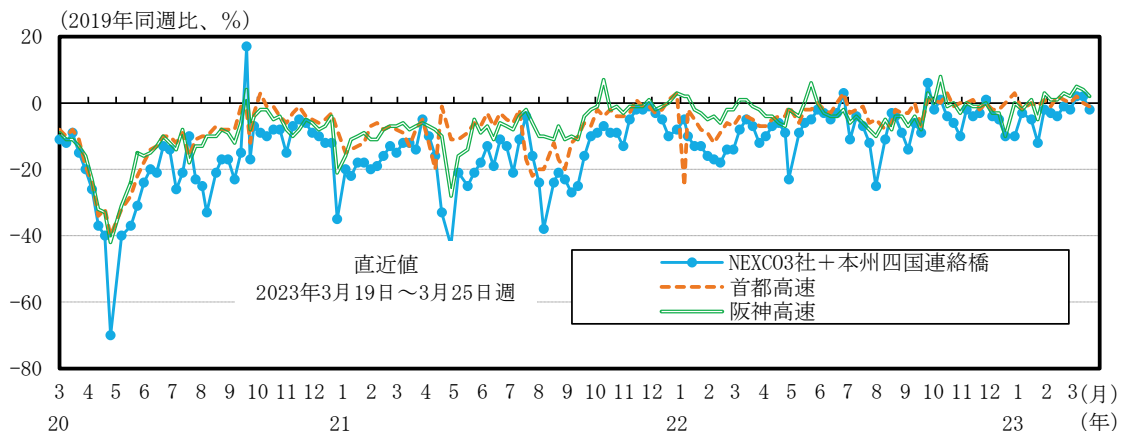
(出所) 総務省統計、V-RESASより大和総研作成

図表 8-2：移動人口の動向（3/20～3/26 週、都道府県別）



(出所) V-RESASより大和総研作成

図表 9：高速道路交通量

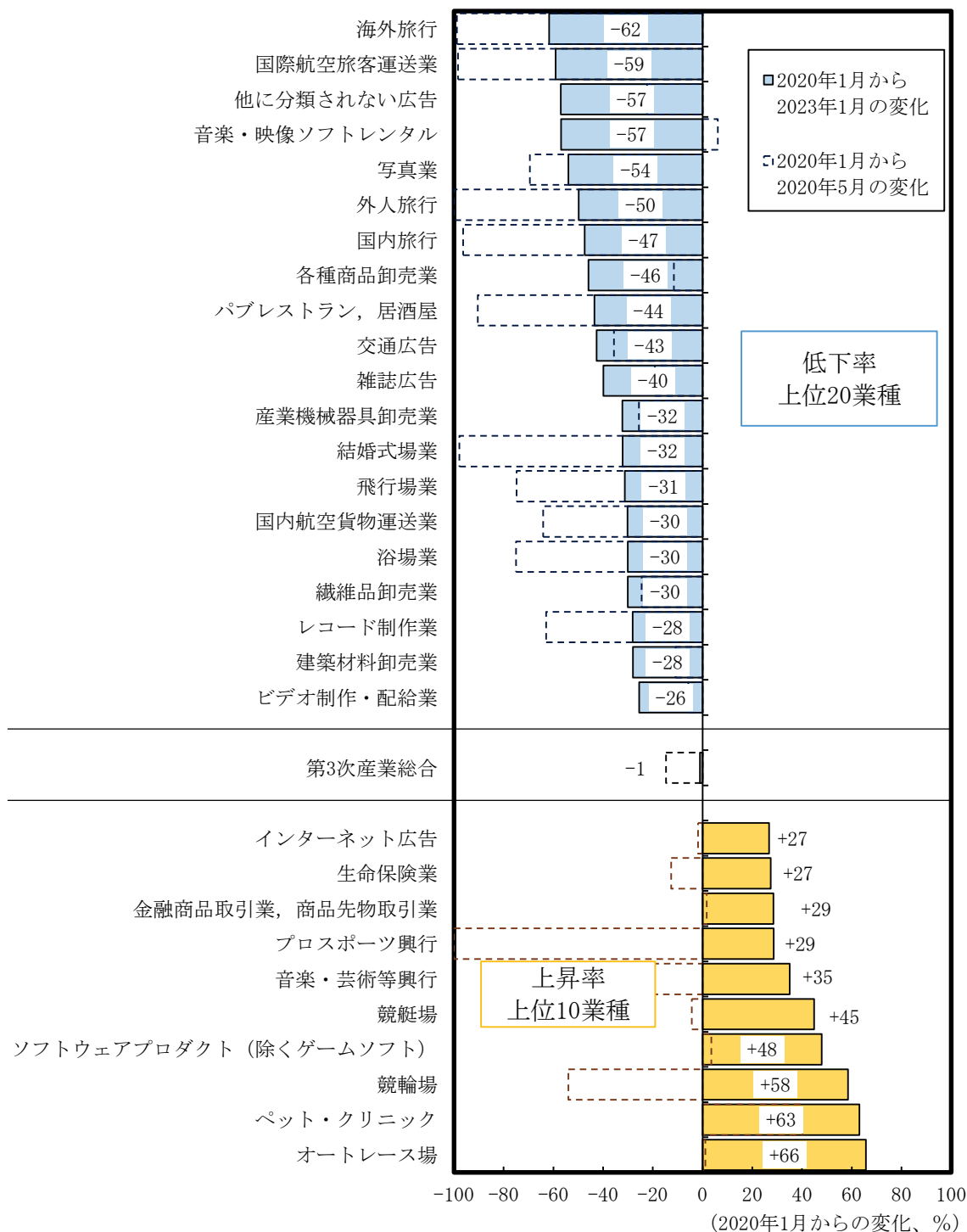


(注) 高速道路交通量のゴールデンウィークとお盆期間、シルバーウィーク、年末年始の前後の週は集計日数が異なる。

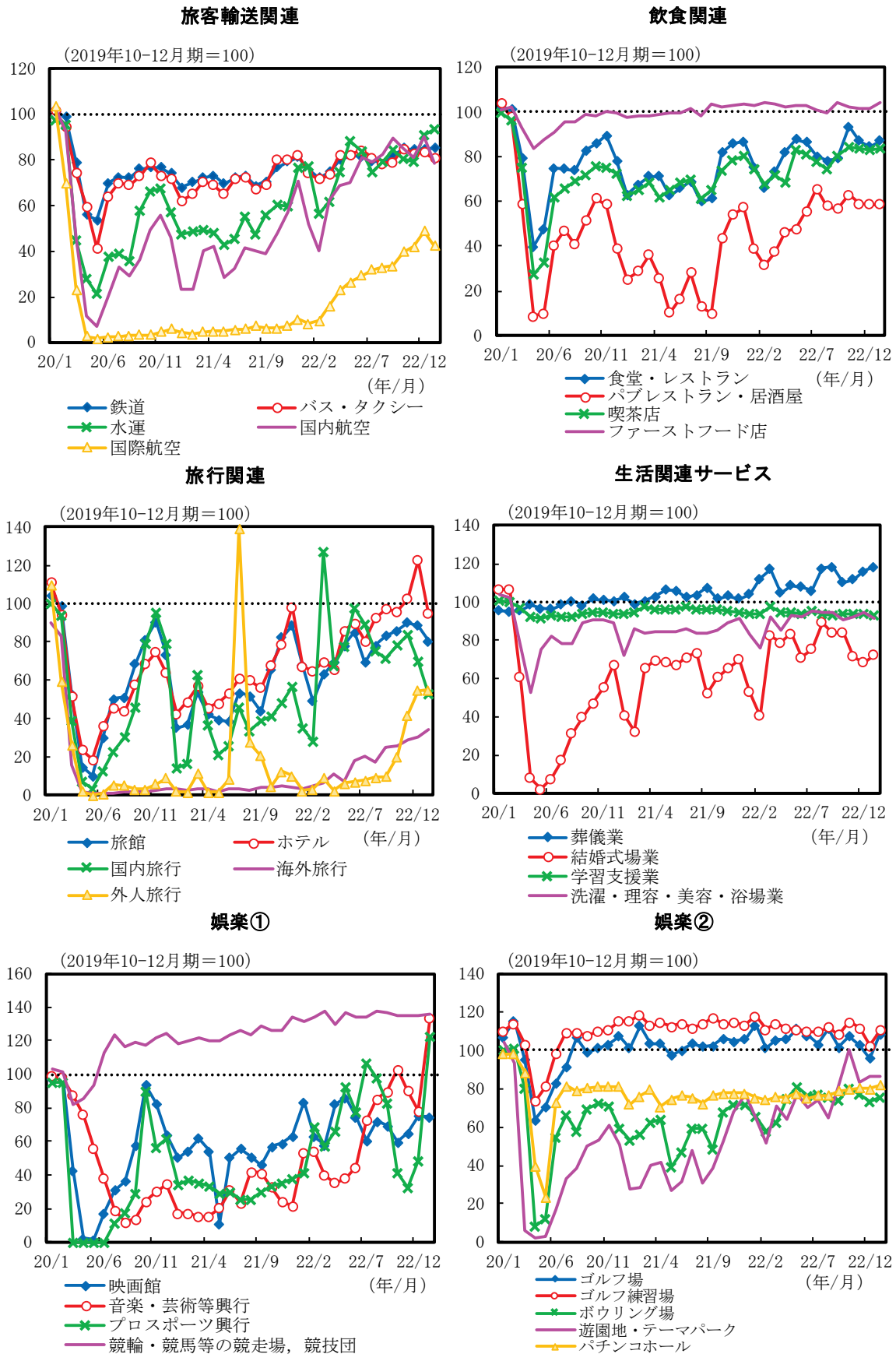
(出所) 国土交通省より大和総研作成

<参考：第3次産業活動指数>

図表 10-1：第3次産業活動指数（2023年1月）



図表 10-2 : 運輸業・生活関連サービス業における活動指数の推移



(出所) 経済産業省より大和総研作成